

# 新学習指導要領の方向と形成過程

市川伸一（東京大学教育学研究科）



# 教育問題と教育改革の変遷

## 教育問題

## 教育改革

1960

受験戦争

1970

受験の低年齢化

1980

校内暴力

いじめ

1990

不登校

学級崩壊

2000

学力の低下と格差

2010

ゆとりの時間

自己教育力

生涯学習

新しい学力観

ゆとり教育

生きる力

総合的な学習の時間

確かな学力 人間力

新学習指導要領

# 『新しい時代の義務教育を創造する』 (2005年10月26日 中教審答申)

学校力、教師力の強化により、人間力を育成

国による基盤整備  
インプット



分権改革  
プロセス



国による結果検証  
アウトカム

(国庫負担金)  
(学習指導要領)  
...

(人事、学級編成)  
...

(全国的学力調査)  
...

# 「生きる力」の展開としての「人間力」

内閣府「人間力戦略研究会」（2002年11月～2003年3月）

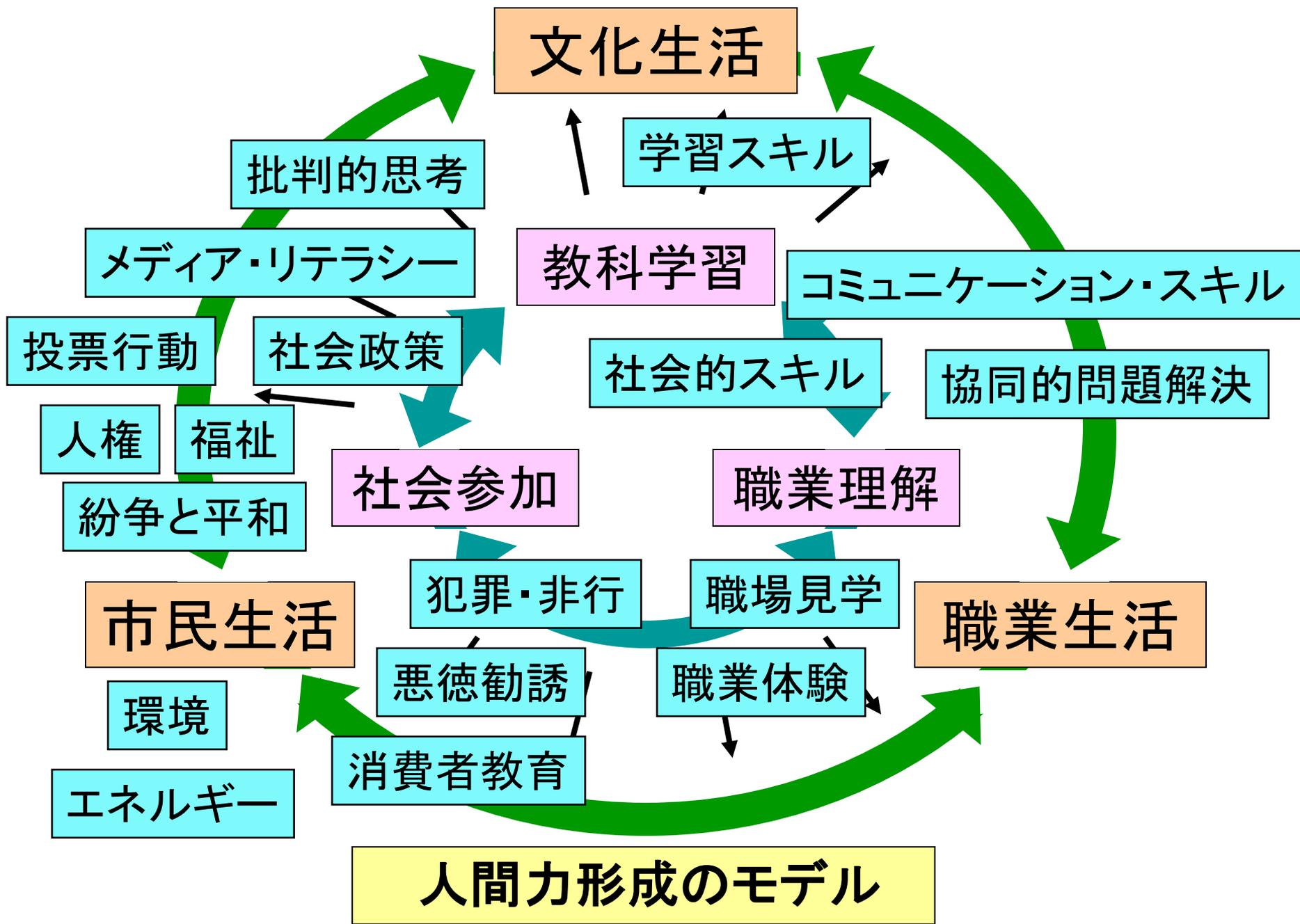
教育、産業、労働・雇用の分野から「人間力」を考える  
「人間力」という言葉に触発されて教育像が広がること

健全な生活を営んでいる「一般市民」をモデルに

教育によって何を育てるのか

「学問＝学習＝学力＝学校」から

「人間として、社会の中で、自立して力強く生きていく力」へ  
知的能力的要素、対人関係力的要素、自己制御的要素



文化生活

学習スキル

批判的思考

教科学習

コミュニケーション・スキル

メディア・リテラシー

投票行動

社会政策

社会的スキル

協同的問題解決

人権

福祉

社会参加

職業理解

紛争と平和

犯罪・非行

職場見学

市民生活

職業生活

環境

悪徳勧誘

職業体験

エネルギー

消費者教育

人間力形成のモデル

中央教育審議会

初等中等教育分科会

教育課程部会

縦割り部会

小学校部会

中学校部会

高等学校部会

横割り部会

総  
則

国  
語

社  
会

算  
数  
・  
数  
学

⋮

図  
工  
・  
美  
術

道  
徳

# 改訂にあたって継続された方針

- 基本的な学力観・教育観

基礎基本の徹底とともに、「自ら学び自ら考える力」  
などの「生きる力」を育てる

- 「総合的な学習の時間」の存続・充実

- 完全週五日制の堅持

# 新たに重視された点

- 言葉と体験

教科横断的な言語力の育成

- 理数能力

- 外国語

- 基礎体力

全体的な授業時間数の増加

# 習得・活用・探究のバランス

中教審答申（2005年10月26日 p. 14）

習得型の教育：基礎的な知識・技能の育成

探究型の教育：自ら学び自ら考える力の育成

中教審答申（2008年1月17日 p. 18）

「……**教えて考えさせる指導**を徹底し、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図ることが重要なことは言うまでもない。」

教材・教具の工夫／理解度の把握

# 新学習指導要領の告示 (2008年3月28日)

## 小学校での変化

国語・算数・理科の大きな時数増  
高学年での外国語活動の導入

## 中学校での変化

選択教科の実質的廃止  
英語、数学、理科の大きな時数増  
部活動の位置づけ

# 内容面での変化

- 全体的に学習内容の復活
- 教科の中での体験、活用の充実
  - 教科横断的に言語活動の重視
- 道徳教育のあり方
  - 徳目から生活へ(やや)シフト
- 家庭や地域との連携
  - 生活習慣、学習習慣
  - キャリア教育、ボランティア活動

## 参考図書紹介

『開かれた学びへの出発 ―21世紀の学校の役割―』  
(金子書房、1998年)

『学力低下論争』  
(ちくま新書、2002年)

『学力から人間力へ』  
(市川編、教育出版、2003年)

『学ぶ意欲とスキルを育てる ―いま求められる学力向上策―』  
(小学館、2004年)

『「教えて考えさせる授業」を創る』  
(図書文化、2008年)

『新版 教えて考えさせる授業 小学校』  
(市川・鎚木編、図書文化、2009年)